

## 2019年度 三次郷心会 役員会・交流会開催

本年度の通常役員会が、12月2日(月)、グランラッセ三次にて開催されました。交流会は、総勢33名の出席者のもと開催されました。

役員会では、2019年度事業経過報告と中間収支報告、および2019年度下期活動案が承認されました。また、昨年10月に三次試験場で行われた「ロードスター30周年ミーティング」の様子の映像もご覧いただきました。交流会では、御来賓の挨拶の後、奥田副会長による乾杯のご発声で始まり、あちこちで活発な歓談が交わされ、大変盛り上がっていました。

諸般のご事情で今回欠席となられた役員様には、次回は是非とも出席されますよう、お願い致します。



## 三次・庄原郷心会合同のマツダ車(CX-8)の安全体感試乗会を開催

2019年12月16日(月)に三次インター自動車学校にて三次・庄原郷心会合同安全体感試乗会を21名参加のもと開催しました。また、6台(マツダ2・マツダ3セダン、ファストバック・CX-5・CX-8・ロードスターRF)のマツダ車展示も併せて行いました。

当日は12月とは思えないほどのポカポカ陽気となり、絶好の体感試乗会日和となりました。

今回は、スマート・シティ・ブレーキ・サポート(SCBS)[被害軽減ブレーキ](時速約30km/h)とAT誤発進抑制制御を同乗して体感いただきました。



(被害軽減ブレーキ体験)



(AT誤発進抑制制御体験)



参加された方は初めての経験で、

「止まらないかと思った。」

「思った以上の衝撃があった。」

「いい体験をさせてもらった。」

など、なかなかできない体験に満足された様子でした。

安全体感試乗会終了後、2階教室でマツダの安全技術説明会を行いました。

最近、アクセルの踏み間違いによる事故など社会でも大きな問題となっていることもあり、皆さん真剣に聞かれていました。



(マツダ車展示の様子)

しかし、この機能も絶対に止まるわけではありません。天候や道路状況によっても変わってきます。

運転中はこの機能が作動することがないように運転しなければいけないと、改めて考えさせられるような試乗会になったと思います。

ご協力頂きました三次インター自動車学校様、ありがとうございました。

## 2019年度 三次郷心会 巡回サービス点検結果報告

4月から11月にかけて毎年恒例の巡回サービス(車の無料点検)を実施しました。今年も無事故で巡回サービスを実施することができました。皆様にご協力頂きましたこと、深く感謝いたします。

今回の点検結果をまとめましたので、会社の大切なお車、愛車の維持管理に役立てて頂ければと思います。

今年、206会員様のうち、175会員様の会社、お宅を訪問し、総点検台数は、447台でした。

点検結果(不具合)を部位別に、右表のグラフにしました。

不具合の多い順に

エンジンオイル交換時期超過	56台。
バッテリーの弱り・交換時期	33台。
ワイパーブレードの劣化	28台。
タイヤ空気圧不足	16台。
等の順となっています。	

### エンジンオイルについて……役割は主に5つあります。

1. 潤滑作用 金属摩擦を減らし、エンジンをスムーズに動かします。
2. 密封作用 ピストンとピストンリングの隙間を密閉してガス抜けを防ぎ、パワーを維持します。
3. 冷却作用 エンジン内部の熱を吸収してオーバーヒートを防ぎます。
4. 洗浄分散作用 エンジン内部の汚れを取り込み、エンジンを綺麗に保ちます。
5. 防錆作用 エンジン内の水分や酸が原因で発生する錆を防ぎます。

この役割のどれが抜けてもトラブルの原因となるのでエンジンオイルは定期的なチェックと交換が必要となります。

### バッテリーについて……バッテリー上がり(寿命)の前兆の見きわめ方。

1. エンジンのかかりが悪い。
2. ヘッドライトが暗くなってきたとき。

下記のように一番電気を使っているときにヘッドライトの明るさやワイパー・ウィンドウの動きで確認するのが簡単な方法です。  
ヘッドライトON・エアコンON・ワイパーON・ウインカーON。

注:ヘッドライトが消費電力が少ないLEDやハイブリッド車などの電子制御の車種は、この方法では難しいかもしれません。また、「夏の終わりから冬のはじまりの時期」はバッテリーの上がりやすい時期といわれていますので注意しましょう。

### ワイパーブレードについて……ゴムが劣化し始めるのは意外と早い。

ワイパーゴムに関しては、ほとんどの製造メーカーで「1年に1回の交換」が推奨になっています。

劣化の症状は、部分的にスジが入るようになった。水ハケが悪くなった。等の症状があらわれたら交換目安です。

### タイヤの空気圧不足について……空気圧不足になると?

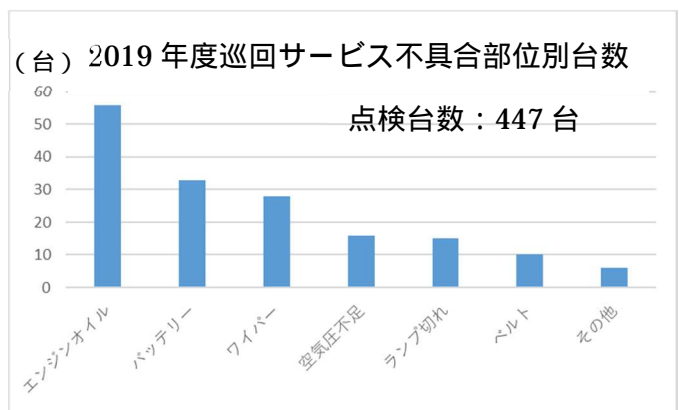
1. 転がり抵抗が増えて、燃費の悪化。
2. 偏摩耗(片減り摩耗、肩落ち摩耗)。
3. 摩耗ライフ(寿命)の悪化。
4. タイヤがグニャグニャと頼りなくなり、操縦安定性が低下。
5. ハイドロプレーニングやスタンディングウエーブが発生する可能性が大きくなる。
6. ホイールからタイヤビート(一番内周の直接ホイールに接する部分)部が外れやすくなる。
7. 発熱によりサイド部のコード切れや、トレッドセパレーションが発生しやすくなる。

タイヤの空気圧も1ヵ月でおよそ5%減っていくので、月に1度はガソリンスタンド等で空気圧チェックをしましょう。

注:ハイドロプレーニング 水の溜まった路面などを走行中に、タイヤと路面の間に水が入り込み、車が水の上を滑るようになりハンドルやブレーキが利かなくなる現象。

注:スタンディングウエーブ タイヤの空気圧が不足した状態で高速走行をした際に、タイヤを横から見た状態でウエーブ状(波状)に変形してしまう現象。(タイヤが加熱され、バースト(破裂))する危険性)

注:トレッドセパレーション タイヤのトレッド(地面と接触する部分)が剥離してしまうこと。



**日常点検をして、安全運転に心掛けましょう!**